



参議院議員
比例代表(全国区)

はるこ ありむら 治子



国政レポート



首相官邸・記者会見室にて

全国の同志の皆さまこんにちは!いつも温かい友情・ご支援を賜り、本当にありがとうございます。今年が明治と元号が定まってから150年の節目の年です。明治・大正・昭和・平成4つの時代を俯瞰し、その智恵と教訓を日本の未来に活かしていきたいです。

天皇陛下のご譲位と皇太子殿下のご即位が来年春に行われることが確定し、新たな時代を迎える準備も進めていかねばなりません。穏やかで平和な時代を国民みんなで迎えられるよう、その実現に寄与できる議会人を目指します。

全国の皆さまから温かい友情とお力を頂き、初当選から17年が経ちました。47都道府県各地で心温まる交流を頂き、日本の風土やあるべき姿を様々な角度からとらえる経験は、確かな判断を求められる政治家としての揺るぎない土台となっています。お蔭様で私が唱えた理念や具体的提案が政府の政策になったり、自民党全体の方針に採用されたり、報道して頂く機会も出てくるようになりました。

激動の時代だからこそ、現実を直視して国民の良識を代弁し、日本が直面する内外の諸課題に解を見出す自民党になっていかねばなりません。「歴史の評価に耐えられるか」「フェアプレイかどうか」常に自問しながら、私自身も国家国民に仕える責任と誇りを胸に、本質を見つめる洞察力と、合意を作り上げていく信用力を磨いて参ります。同志の皆さま、どうかこれからも共に歩んで下さいますようお願い申し上げます。感謝

全国の皆さまに「ありむら治子」とお書きいただき3期目の議席をお預かりしています



福岡 「おばちゃん あ・そ・ぼ〜」と一斉に膝に乗ってくれる子供達。「お姉さんと言ってくれたら、だっこもしちゃうよ〜!!」みんなはね、日本のたからもの、大好き♡



東京 衆議院選挙に向けては16都道府県でマイクを持ちました。苦しい時こそ、明るい突破力を発揮し、正々堂々の勝負に臨みます。



茨城 そろばんに向き合う児童の集中力のすごいこと!休憩時間に初めて子供らしい笑顔を見せ、学校のような話してくれました。フラッシュ暗算は必見です!



青森 各地の畳製作現場に伺い、和の暮らしの土台、畳の応援団を担っています。災害仮設住宅にも、断熱クッション性の高い畳が迅速に活かされるよう連携しています。



東京駅 マレーシア・シンガポールを結ぶ高速鉄道にはぜひ日本の新幹線を!友好議員連盟の幹事長として、マレーシアの議長一行を、JR経営陣と共にご案内。「ライバル」は低価格で攻めてくる中国の新幹線。日本にとって負けたくない大型商戦です。



広島 全国どこに伺っても、会場設営や受付など、本番の会を支えておられる方々のご貢献を率先してたたえています。

この一年も各地で貴重なご縁と学びの機会を賜りました。現実を直視し、志を高く掲げて一緒に未来を拓いていきたいです。感謝
有村治子 拜



長崎 会場を歩き回り、皆様のご意見を聞いて進める有村の講演スタイル。依頼いただくテーマも幅広く、(受験生にも負けない!)猛勉強をして本番に臨みます。



埼玉 土着の仕事に心からの敬意と愛着を持っています。気心知れた全国の植木屋さんと長靴姿で意見交換を重ねています。国土を守る原点です。

ありむらの この一年の 具体的 進展

月刊WILL(平成29年12月号)が、有村の論稿を11頁にわたり掲載



平成29年6月7日参議院・天皇の退位等に関する皇室典範特例法案特別委員会での「附帯決議」の採決

Message
ご皇室の伝統と国柄を守ろう
チャネル桜 水島総代表取締役

有村議員は、本来の日本のあり方を示した政治家だと思つた。

「天皇の退位等に関する皇室典範特例法」の附帯決議には、将来の日本に禍根を残しかねない本質的な危険性があることを見抜き、議場で身を挺して唯一反対し、保守の矜持を貫いてくれた。皇室を大事に想う国民の志は、有村議員と共にある、と誇りを帯びて伝えたい。



避難生活を余儀なくされる中、仮設住宅の前で披露された伝統芸能「請戸の田植踊り」。(写真提供:福島民友新聞社「ふくしまの民俗芸能」)

避難生活を余儀なくされる中、仮設住宅の前で披露された伝統芸能「請戸の田植踊り」。(写真提供:福島民友新聞社「ふくしまの民俗芸能」)

この一年半、福島と東京で共に活動してきた有村さんは、我が「戦友」です。「地域を思い、国を思う真の日本の政治家」有村さんに出会えたことは、「神さまからの賜りもの」だと思っています。



Message
被災地の「心の復興」を進めよう
丹治正博 福島県神社庁長

東日本大震災・原発被害に苦しむ福島では、帰宅困難地域などで人々が離散し、地域の絆をつなぐ神社やお寺の基盤そのものが危機に瀕しました。憲法が定める「政教分離」の原則を盾に、震災後五年経つても「心の復興」には行政も政治も全くあつてくれませんでした。怒りを通り越して焦りと諦めが強くなつてきた窮状を直視し、唯一立ち上がったくれたのが有村さんです。

御神楽や田植踊りなど、福島が誇る豊かな民俗芸能を再興する「心の復興」を正々堂々と進めるといふ誠実な戦略性を有村さんが発案してくれたことで、復興庁・文化庁・国土交通省もやっと安心して動き始め、私達地元も県や市町村、地元メディアやNPO等と連携を進め、ついに福島県の特徴を活かした「復興祈念公園基本構想」が閣議決定され、今年から具現化していきます。

保育の担い手を応援しよう
待機児童問題の背景には全国的な保育士不足があり、保育士の処遇改善や地位向上は、国家的な課題です。

保育士のおさんが優先的に入園できるように全国で制度を整え、保育士の離職防止と復職支援を実現すべきと粘り強く訴えた有村の提案が、厚生労働省・文部科学省・内閣府共通の全国通達となり、朝刊各紙に取り上げられました。

幼い命の健康と安全、子育て世代の安心に向けて、政策を一つ一つカタチにしていきます。



富山県の園児の皆さんと

国旗に敬意を持つ
NHKが中国国旗の下に日の丸を配した映像を全国放送。独立国の国旗を上下に配することは、下に配する国の服従・属国扱い・降参を意味するため、外交儀礼上あつてはならないことです。それぞれの国旗は国民のいであち、価値観、国土、そして国の誇りを象徴するものです。

「NHKは一体どこの国の公共放送ですか」とNHKの報道姿勢を質した有村の国会質問は全国紙で取り上げられ、SNS・口コミで拡がり、動画サイトでは19万を超えるアクセスを重ねています。

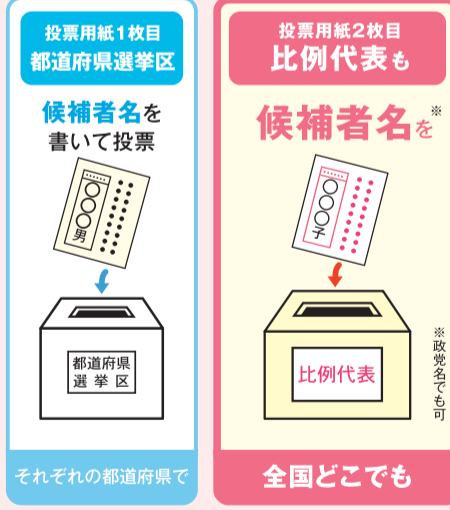


▲平成29年4月13日 参議院・内閣委員会での質問 ▲平成29年4月3日NHKニュースウォッチ9の映像

YouTube ありむら NHK 国旗

ご存知ですか? 参議院比例代表(全国区) 選挙の投票方法

全国すべての地域にお住まいの方に
候補者名を書いて頂ける選挙です



全国の皆様に“ありむら治子”と個人名で 貴重な票を賜りました

ありむら治子 都道府県別 得票数 (平成13年・19年・25年)

都道府県	平成13年	平成19年	平成25年
北海道	5,360	8,061	5,937
青森県	4,180	21,673	12,731
岩手県	721	4,077	2,922
宮城県	1,755	7,326	5,409
秋田県	792	6,310	3,457
山形県	1,508	2,446	2,136
福島県	1,211	2,779	1,577
茨城県	2,930	7,433	5,383
栃木県	1,895	10,310	6,234
群馬県	780	2,480	2,822
埼玉県	5,212	10,960	7,584
千葉県	4,279	9,695	8,080
東京都	10,409	10,505	12,910
神奈川県	5,433	7,387	8,299
新潟県	947	1,582	4,027
富山県	979	1,209	2,901
石川県	1,727	3,013	4,495
福井県	721	1,582	3,832
山梨県	746	1,371	847
長野県	884	1,140	1,761
岐阜県	3,131	4,011	3,289
静岡県	3,385	4,483	4,965
愛知県	6,062	5,014	5,694
三重県	1,789	2,252	2,839
滋賀県	9,210	22,755	21,129
京都府	1,858	2,185	4,202
大阪府	9,129	4,644	5,250
兵庫県	4,981	2,831	3,720
奈良県	894	966	1,666
和歌山県	374	470	1,561
鳥取県	325	661	1,010
島根県	737	1,740	1,945
岡山県	1,551	2,220	1,454
広島県	1,449	2,309	2,645
山口県	942	3,055	2,564
徳島県	767	1,450	2,592
香川県	574	794	548
愛媛県	982	2,242	4,075
高知県	388	638	806
福岡県	6,171	3,709	3,124
佐賀県	806	1,486	1,499
長崎県	915	1,719	1,331
熊本県	670	1,856	3,827
大分県	865	793	411
宮崎県	1,147	1,691	2,048
鹿児島県	1,884	3,360	2,008
沖縄県	807	628	1,796
合計	114,261	201,301	191,342

※各市区町村ごとの得票数は国会事務所にお問合せ下さいませ。

自民党で 当選者20人中 19位
当選者14人中 14位
当選者18人中 12位

これからも、まっすぐに



参議院議員 比例代表 全国区
ありむら 治子 はるこ

選挙区 北海道から沖縄まで、全国47都道府県
生まれ 昭和45年 おとめ座
出身 滋賀県(石川県生まれ、ルーツは鹿児島)
性格 前向きにチャレンジする天性の明るさ
趣味 ウォーキング・子どもと楽しむ絵本の読み聞かせ

平成13年、参議院選挙 比例代表(全国区)にて初当選、現在3期目。文部科学大臣政務官、歴代最も若い自民党女性局長を経て、参議院環境委員会委員長、自民党政調会長代理等を歴任。平成26-27年、安倍内閣にて初代女性活躍担当大臣、国務大臣(行政改革・国家公務員制度・規制改革・少子化対策・男女共同参画担当)を務める。現在は自民党憲法改正推進本部副本部長、自民党行政改革推進本部副本部長代理等を務める。家族:鉄道会社に勤める夫と子供2人

国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館1015号室
TEL 03-6550-1015 FAX 03-6551-1015 E-mail haruko@arimura.tv

ホームページ www.arimura.tv フェイスブック公開中!
www.facebook.com/haruko.arimura

お名前、ご住所等ご確認のお願い
お名前やご住所等に変更がありましたら、国会事務所までご一報下さい。有村と共に歩んで下さる全国の皆さまに的確に情報をお届けできるよう事務所一同努めて参りますので、引き続きのご指導を賜りますようお願い申し上げます。